



日本大学文理学部

教育学科

2011 学科案内

「ひと」が学び育っていく過程と、
多様で複雑な社会の接点となっているもの。
そして次代へと文化を伝え、また発展させるもの…
「教育」
未来を創造する力です。



教育学科の分野別体系



最新NEWS

① カリキュラムが変わりました

1年生の初年次導入教育、2～3年生の教育学演習で少人数教育を開始。

② 小学校教員養成特別プログラムの実施

教育学科受講者のうち、約半数が現役合格。

③ 就職率99% (2010年度実績)

教員以外にも、一般企業などに多く就職。

④ センター試験を導入

平成23年度入試から、センター試験を利用した入試を導入。

教育学科では、多様なカリキュラムから個人のニーズ 未来を創造する力を養います。

■ 学科専門科目

	1年次	2年次	3年次	4年次
教育学の基礎的知識に関する分野 (必修科目)	教育学基礎論1 教育学基礎論2 外国教育史1 外国教育史2	日本教育史1 日本教育史2 教育心理学1 教育心理学2 教育学演習1 教育学演習2	教育の社会学1 教育の社会学2 教育学演習3 教育学演習4	
教育学及び学校教育に関する分野	教授学習論 教師教育論	教育人間学 教育思想論 教育内容論 教育制度論 教育行政論 教育経営論 教育法規論 中等教育論 高等教育論 道徳教育論 特別活動論 教育カウンセリング論 生活指導・進路指導論		
生涯学習及び社会教育に関する分野		生涯学習論 社会教育論 地域教育論 青少年教育論 社会教育計画論1 社会教育計画論2		
国際教育に関する分野		比較教育論 国際理解教育論 アジアの教育 ヨーロッパの教育1 ヨーロッパの教育2 アメリカの教育		
メディア教育に関する分野		教育とメディア マルチメディア教育論 インターネット教育論(含実習) 教育プログラム開発論(含実習)1 教育プログラム開発論(含実習)2		
教育の現代的課題に関する分野		教育と産業社会 教育と開発 環境教育論 ジェンダーと教育 読書指導論 学術情報の活用 幼児教育論 障害児教育論 発達と認知 野外教育論(含実習)1 野外教育論(含実習)2 教育学特殊講義1 教育学特殊講義2		
卒業特殊課題				卒業論文 卒業研究

■ 授業風景



佐藤 晴雄 先生【生涯学習論】

成人の学習に焦点を当て、各地の事例を踏まえながら今後のあり方を考えます。生涯学習関係者(職員、実践者、NPO関係者など)をゲストとして招き、実際に話を聞く機会などもとり入れます。



平野 英俊 先生【学術情報の活用】

卒業論文やレポート作成に必要な学術情報の探索と収集のための基礎的知識と技能を習得します。コンピュータ実習室を使用し、講義と文献探索実習を並行して進めます。



北野 秋男 先生【教育学演習1】

世界の学力比較の結果を分析し、学力問題の動向を探ります。日本、アメリカ、IEA、OECDなどのテスト問題を実際に解きながら、求められている学力が何であるかを比較・分析します。



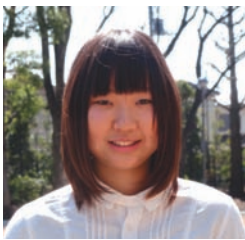
小野 雅章 先生【日本教育史1】

古代から現代までの日本の教育について、一連の流れの中で理解できるように学びます。また、現代の教育問題の要因を探るための有効な方法の一つとして歴史的検証を行います。

に合った授業を自由に選択し、

■ 時間割の例

4年次(教職コース「英語科」「小学校教員養成特別プログラム」履修)の場合



鈴木 沙織(教育学科4年)

日本大学三島高等学校卒業

中・高の英語の教員免許と、玉川大学通信教育学部で小学校の教員免許を取得しています。教育学科では、多くの教員免許が取得可能で自分の興味のあることすべてに挑戦することができます。このように恵まれた環境の中で、毎日充実した大学生活を送っています。小学校教員養成特別プログラムで大切なことは、期限までにレポートを作成・提出することです。レポートを提出することにより、試験を受ける資格が得られます。レポートと試験、両方が合格することで単位を取得できます。夏にはスクーリングが行われ、9:00~17:00までの1週間の集中講義となります。スクーリングでは玉川大学の先生方の講義を聴くことができるので、自分の知識の幅を広げることができます。また、幅広い年齢層の人が全国からくるので、色々な人と友達になるチャンスでもあります。大学在学中に、中高の教員免許に加え小学校の教員免許も取得できるので、自分の頑張り次第で将来の選択肢も広がる魅力あるプログラムです。

	MON.	TUE.	WED.	THU.	FRI.	SAT.
1		英語科教育法Ⅱ		卒論指導		
2			オーラル英語3	卒論指導		
3			オーラル英語4			
4		対外・対内が英語				
5						

●小学校教員養成プログラム時間割(平成22年度参考)

	夏期スクーリング※ (6日間2科目)	冬期スクーリング※ (3日間1科目)	テキスト学習 (レポート)
1	教育の方法と技術	教育の原理	家庭 道徳の指導法 社会科指導法 生活科指導法 音楽科指導法
2			
3	図工指導法		
4			

※スクーリングは、玉川大学通信教育部(東京都町田市)のキャンパスで行われます。

3年次(教職コース「社会科」「地理歴史科」「公民科」)の場合



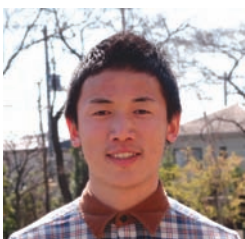
木村 敬一(教育学科3年)

筑波大学付属視覚特別支援学校卒業

教育学を基盤として、文系と理系の様々な分野の授業を履修することができるため、自分の生活にあわせてやりたいことに全力を尽くすことができます。私の場合は、水泳でロンドンのパラリンピックを目指しています。インターハイ経験者から初心者まで、幅広い人たちが楽しく練習できる水泳のサークルにも入らせていただき、充実した学生生活を送っています。

	MON.	TUE.	WED.	THU.	FRI.	SAT.
1		人文地理学概論1		地理歴史科教育法Ⅰ		社会科教育法Ⅱ
2		アメリカの教育	地理学概論1	総合研究(鎌倉学)		地理歴史科教育法Ⅱ
3	教育学演習3		地理学概論2			
4	教育学演習4		法学通論	障害児教育論	教職課題演習	
5	教育の社会学1	スポーツ・5(ウォータースポーツ)	公民科教育法Ⅱ	政治学概論	自然地理学概論1	
6	教育の社会学2		比較教育論		教育カウンセリング論	
7	社会情報論1					
8	社会情報論2		人文地理学概論2	社会科教育法Ⅲ		

3年次(教職コース「保健体育科」履修)の場合



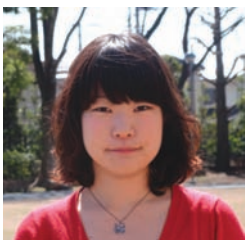
藤代 海意(教育学科3年)

日本大学藤沢高等学校卒業

私は保健体育の中学校・高等学校の教員免許状、小学校二種の教員免許状取得に向けて充実した毎日を送っています。学科の授業やゼミ、ボランティア活動等を通して様々な知識を学び、あらゆる経験を積むことによって「実践力」を豊かにしたいと感じています。教育学科は「教育」というものをあらゆる角度から楽しむことができる夢の広がる学科です。

	MON.	TUE.	WED.	THU.	FRI.	SAT.
1						
2				保健体育科教育法Ⅱ		
3	教職課題演習			保健体育科教育法Ⅲ		
4	教育学演習3		救急処置	障害児教育論		
5	教育学演習4		障がい福祉(体験)Ⅱ			
6	教育の社会学1		安全教育			
7	教育の社会学2		スポーツ運動学			
8						

2年次(教職コース「国語科」履修)の場合



羽田 望美(教育学科2年)

東京都立小山台高等学校卒業

教員を目指す多くの友達がいるので、自分の夢に向けて毎日刺激を受けながら大学生活を送っています。「教育ってなんだろう」って思いながら学んでいると、授業の中で様々な発見があり、視野が広がるので、自分の知りたいことや学びたいことを見つけることができます。

	MON.	TUE.	WED.	THU.	FRI.	SAT.
1	現代日本文学(日本朝の方言)	日本教育史1	教育心理学1	日本語音声学		地域教育論
2	社会教育演習1	日本教育史2	教育心理学2	書学3		
3	日本語史4(国語・文章史)	現代文学講義1	道徳教育論	日本語学入門1		国語科教育法Ⅰ
4	社会教育演習2	現代文学講義2	生涯学習論	日本語学入門2	上代文学講義2	
5	文章表現法	英語7	障がい福祉(体験)Ⅰ	障害児教育論		
6		英語8	障がい福祉(体験)Ⅱ	特別活動論	教育法規論	
7	漢文学2	教育学演習1	英語5			
8		教育学演習2	英語6	政治学概論	教育カウンセリング論	
9			教育とメディア		日本語文法史	

※時間割の上段は前期、下段は後期となります。



林 美穂

1994年度卒／1996年度大学院博士前期課程修了
青森短期大学准教授

皆さんこんにちは。私は、1991年から教育学科と大学院で学びました。ここで、私の人間観の基礎が形作られました。教育学科には、人間の「善さ」と成長とを信じる温かい眼差し、受容の雰囲気があります。また、問題を議論と分析によって乗り越えようとする誠実さと厳しさがあります。人間探求の先達である先輩方が、皆さんを友として対する場がここにあります。友と互いの価値や可能性を活かし合う、出会いの場を求めてください。



酒匂 康裕

1997年度卒／韓国慶熙大学校国語国文科博士課程修了
近畿大学准教授

大学では色々な人との出会いがありましたが、なかでも留学生との出会いが今の私に繋がっています。熱心な留学生の姿に刺激を受けて、学科での勉強と同時に韓国語の勉強を始めました。その後、交換留学生として韓国の慶熙大学へ1年間留学しました。今は引き続き大学院で韓国語教育について研究しながら韓国の学生に日本語を教えています。小さなきっかけが大学生生活、そしてその後に大きな影響を与えてくれるのだなと感じています。

卒業生からのメッセージ MESSAGE



佐藤 均

1976年度卒
千葉少年鑑別所統括専門官

収容された少年たちが立ち直るための教育や指導をおこなう、法務教官として勤務しています。「人としてどう生きていくのか」を自分の力で切り開くことができるように、個々の少年に対して働き掛けをおこなうのが仕事です。それは、地味で根気が必要ですが、とてもやり甲斐のある職業です。「教育」という言葉の重みを痛感しながら、ひとりでも多くの少年を更生できるようにすることが、私たちの役割であると信じて勤務しています。



小林 夏樹

2005年度卒
(株)ぎょうせい

私は教師になりたくて教育学科に入学しました。講義をうけていく中で、教育は学校や教室だけのものではなく、教師だけが教育に携わる仕事ではないということを実感しました。現在は、出版の仕事に就いています。これからも様々な角度から教育について学び、いつか教師になることを目指して頑張りたいと思います。私はこの教育学科で過ごした大学生活の中で、自分の新しい可能性と、かけがえのない大切な仲間達と出会えたと思います!!



藤代 正倫

1972年度卒
宮城教育大学特任教授・元仙台市公立中学校校長

大学の卒業式の挨拶で、ある先生から、「君達は、役に立たない学問を学んできた…」と言われ、大変憤慨したことを覚えています。しかし、教員になって、教科・領域や生徒指導をすすめていく際に、「課題の発見・捉え方、課題解決するための情報収集や手立て、まとめ方や発表・表現の仕方」などの「学ぼうとする知識=(基礎・基本)」を大学の4年間で教えていただいたことに気づき、その先生の「真意」を知った次第です。



服部 美鈴

1993年度卒／1995年度大学院博士前期課程修了
フリー編集者・ライター

もともと教員志望ではなく、純粋に教育学に興味があったのでこの学科を選びました。大学・大学院で学んだ後、幼児教育誌の編集者を経て、単行本の編集やライターの仕事をしています。得意分野は子どもと女性のこと。絵本、シユタイナー教育、ファッション、ユースカルチャー、代替医療などの本に携わっています。テーマ選びはもちろん、編集作業のあちこちで、教育学を学んだことの“パンチ”が効いてきていると最近強く感じています。

教育学科には、
人間の「善さ」と成長とを信じる温かい眼差し、
受容の雰囲気があります。
また、問題を議論と分析によって乗り越えようとする
誠実さと厳しさがあります。



小林 真一郎

1998年度卒
東京都立特別支援学校教諭

特別支援学校に勤務するようになってから、都の研修を受講し、保健体育を基礎免許とし養護学校教諭免許(2種・当時)を取得しました。大学時代に漠然と思い描いていた「教員」という職業に対し、今では児童・生徒達と時間を共有し、子どもの気持ちに寄り添い共に学んでいくすばらしい職業であると同時に、責任が重いものであることを実感しています。だからこそ、これからも子ども達の目線で物事を考えていく教師でありたいと思っています。



櫻井 ひろの
2008年度卒
(株)ANAエアサービス東京

教育学科で英語の中学・高校教員免許取得に励みました。高校まで学んできた英語を「教える側」から習得したいと思ったからです。年間に取得できる単位の上限がないため、個人の希望次第で免許取得に必要な授業を履修することができます。現在は習得した英語と教育学の基礎を活かし、成田国際空港のグランドスタッフとして勤務しています。教育学科で学びながら、自分がしたいと思う仕事を見つめることができたので感謝しています。



佐藤 亮
1999年度卒
春日部市公立保育所(保育士)

大学に入学した当初、「子どもにかかわる仕事がしたい」という漠然とした気持ちはありました。他にもやりたいことがあり将来のことまでは決めかねていた時、サークル活動を通じて保育士という仕事を知りました。在学中に資格試験に合格し、今は保育士として働いています。仕事で辛い時もありましたが、子ども達の笑顔を見てると諦めなくてよかったと思います。そんな自分を誇れるよう、これからもこの仕事を頑張っていきます。



高橋 さやか
2001年度卒
埼玉県公立高等学校教諭

みなさんは、大学時代をどのように過ごしたいですか？私は、教育に関する様々なことを学びながら、自分が就きたい職業について考えました。そして、たくさんの選択肢の中から、大学時代に得た知識を活かすことができ、小さいころからの夢でもあった「教師」という道を選びました。今は、「教育」という仕事の難しさを実感しながらも、充実した毎日を送っています。みなさんも、教育学科で自分の夢を見つけ、それを実現して下さい。

大学時代に漠然と思い描いていた「教員」という

職業に対し、今では児童・生徒達と時間を共有し、

子どもの気持ちに寄り添い共に学んでいくすばらしい

職業であると同時に、責任が重いものであることを

実感しています。



新井 啓美
2003年度卒
(財)図書教材研究センター

今の職場は、文部科学省所管の法人で、私はそこで学校で使用するドリルやワークなど、教材の改善を図るための調査研究、情報や資料の収集・保管を担当しています。大学時代、先生方に支えられ、充実した4年間を過ごすことができました。そこで学んだこと、得たものをより広く活かしたいと考え、当初志望していた教員ではなく、今の道を選びました。学ぶことの多い毎日ですが、社会の役に立てるよう責任を持って仕事をしています。



五島 博司
1992年度卒
北海道公立小学校教諭

私は、教員を目指していましたが、迷わず教育学科を志望しました。そして、在学中に小学校にかかわるアルバイトを経験したことから、小学校の教員になりたいという思いが強くなり、卒業後に小学校教員の免許を取得して現在にいたっています。みなさん、「教員になること」だけにこだわらず、まずは広く「教育について学んで」みてはいかがでしょうか。きっと、そこから自分の進むべき道が見えてくると思います。

教育学科を卒業された様々な先輩たちからのメッセージが届いています。

貴重な経験をされてきた先輩たちの声に耳を傾け、

今後の参考にしてみませんか。あなたの未来のヒントになる一言に出会うかもしれません。



呂 林華
2001年度卒／2003年度大学院博士前期課程修了
日本大学文理学部学生課職員

母校である文理学部に職員として勤務しています。大学時代は、先生方や事務の方々、ともに支えあいながら過ごした仲間などから多くの刺激を受け、新たな自分を発見し成長することができました。修士論文では、急激な発展を続ける中国経済と高等教育の関連について、日本との比較を視野に入れて考察しました。こうした経験は、仕事にも確実に反映されています。皆さんにも、多くの出会いと学びを経験して欲しいと願っています。



川島 衛
2005年度卒
千葉県公立中学校教諭

私は現在、千葉県の公立中学校で教員をしています。教育学科での4年間を振り返ると、それは大変充実したもので、教員としての基礎的な資質を育む貴重な時間でした。恩師と呼べる先生方と数多くの友人と出会ったことで、教職のための教養だけでなく、「人が人と関わるための対人スキル」を身に付けることができました。その学びこそが、私が子ども達と関わっていく際の基礎となり、教員として、また、一人の人間としての魅力を創り、現在の私を支えてくれています。

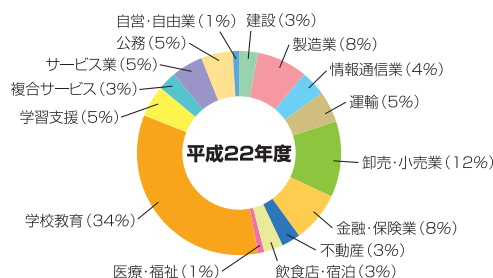
教育学科の特徴があらわれた就職状況。 卒業生は多方面で活躍しています。

■ 進路について

教育学科は、これまで6,000名を超える卒業生を輩出してきました。そのうち、小・中・高等学校の教員が約25%、大学教員約5%、教育委員会などその他教育関係職が約10%となっており、ここに教育学科の特徴があらわれています。もちろん、教育関係職に限らず民間企業や官公庁にも卒業生の約50%が就職しています。近年は、大学院に進む学生も増加しており、毎年約10%程度が国内外の大学院等に進学しています。(判明分)

最近の主な就職先と就職状況

ANAエアサービス東京、伊藤園、積水ハウス、TOTO、ヨネックス、アスキー、H.I.S.、JTB、阪急阪神ホテルズ、ジャスコ、セブンイレブンジャパン、みずほホールディングス、三菱東京UFJ銀行、ルイ・ヴィトンジャパン、キューピー、仙台89ERS、住友不動産販売、大林不動産、東日本旅客鉄道、東京地下鉄、AFLAC、三井住友海上火災保険、アクサ生命保険、日本生命保険、教育図書センター、ぎょうせい、中央出版、市進、日能研、臨界セミナー、放送大学学園、日本高等教育評価機構、日本障害者雇用促進協会、図書教材研究センター、日本私立学校振興共済事業団、厚生労働省、総務省、防衛省、国税庁、東京地方検察庁、特許庁、地方自治体、公立小学校、公私立中学校、公私立高等学校、教育委員会 など



最近の主な進学先

日本大学大学院、東京大学大学院、東北大学大学院、筑波大学大学院、東京学芸大学大学院、横浜国立大学大学院、千葉大学大学院、茨城大学大学院、群馬大学大学院、富山大学大学院、上越教育大学大学院、兵庫教育大学大学院、日本女子大学大学院

■ 大学院について

大学院文学研究科教育学専攻は、人文系・社会系の他の専攻と同様に、博士前期課程(修業年限2年、単位を取得し提出論文が合格すれば「修士(教育学)」の学位が授与される)、博士後期課程(修業年限3年、提出論文が合格すれば「博士(教育学)」の学位が授与される)から構成されています。高度な専門知識をもった職業人および優れた研究能力を備えた研究者の育成をめざした教育をおこない、すでに数多くの人材を社会の諸分野に送り出しています。教育学の学界において日本大学大学院教育学専攻の名はよく知られていて、日本教育学会、教育史学会、日本比較教育学会など、全国規模の学会大会の開催を委嘱されることも少なくありません。教育学分野の専門研究者ばかりでなく、中学校・高等学校の専修教員免許状取得の途も開かれていて、高い専門性と資格をもつ、優れた教員を教育界に供給しています。学部卒業後、より深く教育学を学ぼうとするみなさんを、大学院文学研究科教育学専攻は門戸を広く開けて待っています。



学生生活における様々な質問にお答えします。 資格のこと、就職・進学のことなど。

■ Q&A

Q1

平成24年度一般入試について教えてください。

A1

A方式

1.入試日程

- 出願期間／1月8日(日)～2月10日(金)
※郵送受付は2月10日(金)まで(必着)
窓口受付は2月9日(木)・2月10日(金)のみ市ヶ谷の大学本部まで
- 試験日／2月17日(金) ●合格発表日／2月24日(木)
- 入学手続締切／3月2日(金)

2.試験科目

- 国語(「国語総合」、必須問題:現代文、選択問題:現代文、古文、漢文のうちから1題選択) [配点100点]
- 地理歴史、公民、数学(「日本史B」、「世界史B」、「地理B」、「倫理」、「政治・経済」、「数学Ⅰ」、「数学Ⅱ」、「数学A」、「数学B(統計とコンピュータ、数値計算とコンピュータを除く)」のうちから1科目選択) [配点100点]
- 外国語(「英語Ⅰ」、「英語Ⅱ」、「リーディング」、「ライティング」) [配点100点]
- 備考／300点満点。全問マークシート方式。選択科目は指定の全科目を出題するので、試験会場で選択してください。

3.平成23年度一般入試状況

- 募集人員／45名 ●志願者／975名 ●合格者／156名
- 合格最低点／185点

C方式第1期

1.入試日程

- 出願期間／1月8日(日)～1月15日(土)
※郵送・窓口受付ともに1月15日(土)まで(必着)
- 合格発表日／2月12日(土)
- 入学手続締切／2月22日(火)

2.試験科目

- 国語(「国語」) [配点200点]
- 地理歴史、公民、数学、理科(「日本史A」、「日本史B」、「世界史A」、「世界史B」、「地理A」、「地理B」、「現代社会」、「倫理」、「政治・経済」、「数学Ⅰ」、「数学Ⅰ・数学A」、「数学Ⅱ」、「数学Ⅱ・数学B」、「工業数理基礎」、「簿記・会計」、「情報関係基礎」、「理科総合A」、「理科総合B」、「物理Ⅰ」、「化学Ⅰ」、「生物Ⅰ」、「地学Ⅰ」のうちから1科目選択) [配点200点]
- 外国語(「英語」) [配点200点]
- 備考／上記の選択科目を指定科目数以上受験した場合は、高得点の科目を合否判定に使用。「英語」についてはリスニングの成績は利用しない。「国語」、「地理歴史」、「公民」、「数学」、「理科」、「外国語」については、大学入試センター試験の配点を上記の配点に換算し、合否判定する。

3.平成23年度一般入試状況

- 募集人員／9名 ●志願者／535名 ●合格者／120名
- 合格最低点／448点

平成23年度入学者納入金

- 初年度納入金／1,125,000円(平成22年度参考)
- ※内訳 ◎入学金／260,000円 ◎授業料／650,000円 ◎施設設備資金／170,000円 ◎実験実習費／15,000円 ◎後援会費／20,000円 ◎校友会費／10,000円

Q2

教職コースではどのような教科の免許をとることができますか？

A2

社会と公民の免許取得が文部科学省から認定されていますが、そのほかに他学科の授業を聴講して必要な単位を取得することによって、地理歴史、国語、書道、外国語(英語・ドイツ語・中国語)、理科、数学、保健体育、宗教、情報、福祉の各教科(一種および二種)も取得することができます。また、大学院教育学専攻では、社会、公民などの教科について専修免許状を取得することができます。ほかに、**小学校教諭二種の免許状が取得できます**。本学部では、玉川大学通信教育部の「小学校教員養成特別プログラム」と協定を結び、別に定める推薦基準を満たし、かつ在学中に中学校・高等学校教諭一種免許状(教科は問いません)を取得できる学生に対して、小学校教諭二種免許状取得の機会を設けています。なお、本プログラムは、玉川大学通信教育部での履修費等が別途必要になります。詳細は、文理学部教務課で確認してください。

Q3

教職以外に取得可能な資格には、どのようなものがありますか？

A3

教育学科では、教職コースのほかに司書教諭コース、司書コース、社会教育主事コース、社会福祉コースなどをとっている学生が多いようです。ほかにも、文理学部では、学芸員コース、基礎カウンセリングコースを用意しています。また、社会福祉主事や児童福祉司などの受験資格を得ることもできます。

Q4

幼稚園や保育士の免許は取得できますか？

A4

本学では幼稚園、保育士の免許は取得できません。ただし、本学科卒業生でも幼稚園教諭などになっている人もいます。その場合は、中学校・高等学校教諭の免許状を取得した後、通信教育等でこれらの資格に必要な科目を修得するか、文部科学省が実施する資格認定試験に合格することが必要です。

Q5

就職・進学状況はどのようになっていますか？

A5

教員をはじめとする教育関係職への就職が比較的多いですが、民間企業や官公庁にも多数就職しています。また、就職率が他の学科と比べて低いということもありません。近年は、国内外の大学院などに進学する学生も増えています。

Q6

もう少し教育学科のことを詳しく知りたいのですが。

A6

文理学部が主催するオープンキャンパスや進学相談会以外にも、教育学科では随時質問を受け付けています。直接事務室においていただくか、もしくは学科のホームページやFAXなどでの質問にも対応しています。お気軽にお尋ねください。

時には励まし、時には一緒になって考える、 学生生活における身近な存在です。

■ スタッフ紹介



小笠原 喜康 (教授)

視覚的思考論やメディアと身体の関係などがメインの研究テーマです。現在は、その応用として博物館教育の研究にも取り組んでいます。「教育とメディア」や「教育プログラム開発論」などの授業を担当しています。



佐藤 晴雄 (教授)

地域で行われる教育について研究しています。特に、学校支援ボランティアに注目し、その活動に潜む成人学習の可能性を探っています。学生による学校支援活動にも関心がありますので、ボランティア活動希望者は気軽に声をかけてください。



平野 英俊 (教授)

図書館専門職の専門性とは何かに関心を持ち、図書館専門職形成の歴史、特にアメリカの図書館員養成教育史を研究しています。授業は、「図書館情報学概論」「文献情報の検索と利用」「学術情報の活用」などを担当。



下司 晶 (准教授)

教育哲学・教育思想史が専門です。フロイト派精神分析や、教育理論・思想の「役立ち」について、現代の教育に即しながら研究しています。担当授業は「外国教育史1・2」「教育人間学」「教育思想論」などです。



杉森 知也 (准教授)

教師教育の課題と展望について、教育史の観点から研究しています。戦前・戦後における中等教員養成システムの連続・非連続性に着目しながら、現在の大学における教員養成カリキュラムの課題を考えています。



橋本 実佳 (助手B)

静岡県出身。2010年度日本大学文理学部教育学科卒業。趣味はスポーツ観戦。大学では、中学・高校の保健体育の教員免許取得。些細なことでも構わないので、気軽に話しかけてください。



小野 雅章 (教授)

日本の教育を歴史的側面から研究しています。1930年代の教育政策・制度の実態の把握に関心をよせています。授業では、「日本教育史」などを担当しています。全国の図書館・公文書館めぐりが「趣味」です。



関川 悦雄 (教授)

ドイツの学校・教育制度を教育思想の面から研究し、演習の授業でドイツの学生文化やシュタイナー学校などを取り上げて学生と論じています。「ヨーロッパの教育1」「特別活動の研究」などを担当しています。



広田 照幸 (教授)

近現代の教育を広く社会科学的な視点から考察しています。世にあふれる教育論は、ゆがんだ現状認識や偏った価値評価に基づいたものがとても多い。冷静な社会科学の見方から教育の今後を考えたいと思っています。



小山 憲司 (准教授)

大学図書館の利用者である研究者や学生がどのように学術情報を検索、入手、利用しているのかといった学術コミュニケーションについての検討・分析を通じて、今後の大学図書館サービスのあり方について研究しています。



宇内 一文 (助教)

差別と共生の教育が研究テーマです。特に、日本のハンセン病絶対隔離政策と入所者のための学校教育との基本構造とその特質を究明することを目的に、教育史的方法論を用いて、実証的な研究を続けています。



本橋 かおり (助手B)

茨城県出身。2008年度日本大学文理学部教育学科卒業。大学では中学社会科、高校地理歴史科、公民科の教員免許を取得。いつも笑顔と元気な挨拶がモットーです。ぜひ気軽に声をかけてください。



北野 秋男 (教授)

現代の日本とアメリカにおける教育改革の動向を理念的、制度的に研究しています。また、アメリカ教育史・思想史の研究を専門とし、アメリカの民主的な教育の特色や問題点についても研究しています。



羽田 積男 (教授)

アメリカの高等教育を研究しており、特に大学の歴史を中心に研究しています。授業では「高等教育論」などを教えており、数多くアメリカの大学を訪問した経験は授業に話題を提供しています。



渡部 淳 (教授)

100カ国の帰国高校生の授業を担当した経験や各国の授業実態の比較研究をもとに、生徒が主体となる獲得型授業の開発と普及を行っています。また、国際理解教育の歴史、理論、実践についても研究しています。



末富 芳 (准教授)

教育行政学、教育財政学が専門です。教育費に関する課題（政府がどの程度教育費を支出すべきか、高い水準の家計教育費をどう「解決」すべきか、未納問題、大学生の教育費ルール等）を中心に研究しています。



富田 純喜 (助手A)

幼稚園および保育所における幼児の学習・発達を研究テーマにしています。主に、学習・発達が保育実践においていかに生起するかをフィールドワークを通じて実証的に研究しています。







日本大学文理学部教育学科

〒156-8550 東京都世田谷区桜上水3-25-40

TEL.03-5317-9714 FAX.03-5317-9425 E-mail inf-ed08@chs.nihon-u.ac.jp

http://www.chs.nihon-u.ac.jp/edu_dpt/Top.html http://www.chs.nihon-u.ac.jp/edu_dpt/mobile/index.html

